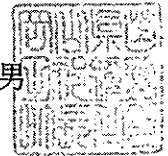


鏡野建設第568号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 殿

岡山県苫田郡鏡野町

鏡野町長 山崎 親男



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあった標記について別紙の
とおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①
岡山県鏡野町

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

○共同溝の推進及び、設置基準の緩和並びに財政面での強力な支援

(特に公共下水道が設置される区域については下水道管敷設時に共同溝を設置することにより将来的には、水道・電機・電話・光ケーブルの共用が可能となる、また都市ガスが引かれている都市については、当然これも共用することとなり災害に強く、安全安心な通行を確保する上で必要な施設と思われる。)

○交付税算出基準に特定の林道には市町村道同様の取扱

(山間部に多い河川添いの道路の場合、大雨・災害による交通止めにもなう迂回路が林道しかない場合その林道に対し、町道と同様の交付税処置を行って欲しい。なぜなら非常時に備え常時維持管理が必要となる。)

○災害等で損壊してからの補助ではなく長寿命化に対する補助の充実

(河川添いの各道路で護岸と河床部の接点が洗掘されている箇所がいたるところに見られる[全国的に]中、崩壊してから災害復旧の補助ではなく事前の補修・修繕に対する各自治体取り組みやすい補助メニューの新設。特に今の制度を住民に説明すると、災害が起きて家が浸かるのは我々であり、壊れる前に直す方が工事費も安く付くはずであり、理解が得られない。)

○危険箇所改善時期の明確化

(国・県道においてバイパスの新設、既存道路の拡幅は地域に活力及び利便性の向上等多くの効果生み出すものの落石・崩落の危険がありかつ、迂回もままならずその道路を通行するしか方法の無い利用者にとっては、改善時期が示されることによる精神的な安心感が確保される。)

○既存施設長寿命化に伴う準備段階での財政面での強力な支援

(現在の国の方針では、道路関係のみならず、概ね改修、耐震診断等事前の準備については補助メニューが無く各自治体の苦しい財政の中で対応を余儀なくしている状況であり、当初の準備段階からの補助メニューの新設。)

今後の道路行政についての意見・提案

②－1地域の現状と抱える課題

様式 ②

岡山県鏡野町

○現状

1)道路敷き・河川敷き内の雑草の繁茂

数年前までは、小規模な農家及び酪農家が飼料の一部及び、農地に有機堆肥として還元するため、道路法面・河川敷きの草刈を年数回行っていたが、廃業もしくは農地合理化に伴う大型経営化に伴い草が無用のものとなり雑草・葛・葎が生い茂った状態になり場所によっては、蛇の住みかになったり生い茂った草木が道路側にはみ出し通行の妨げになっている。

○課題

1)除草作業費が年々多くなる

安全安心な通行を確保する上で道路愛護等の名目で地域住民の手で集落地域内の道路法面の草刈等に対応してもらっているものの、集落と集落の間の道路については行政が業者に委託し、除草作業を行っているものの予算的な問題もあり年一回行うのが精一杯である。今後は除草委託面積が増えて行くものと思われる。

今後の道路行政についての意見・提案

②－2地域の目指すべき将来像

様式 ③

岡山県鏡野町

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

岡山県鏡野町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
1) 良好な生活空間・自然環境の形成 2) 少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	1) 道路・河川愛護補助事業 地区内の道路・河川の草刈及び、清掃作業に対し出労人数に対しお茶代程度の補助金を支給する制度。 2) 小型除雪機導入補助事業 地区内の高齢者等のみの世帯で、本通りまで自力で除雪できない世帯に対し、地区のボランティアとして除雪を行う場合の小型除雪機購入に対する補助制度。	1) 協働のまちづくりの一環であり、郷土を愛し自らの手で守っていく風土の醸成。 2) 地区内において常に相手のことを思いやる気持ちをはぐくむことは、少子・高齢社会のみならず全てに対し必要なことであるが、やもすれば限界集落になりかねない地区については特に重要なことであり、当該補助事業によりそのような気持ちがさらに育まれる。	